

統合失調症を有する長期入院患者の退院を阻害する要因

—長期入院を継続的に支援する精神科看護師のインタビュー調査から—

軽部悠季, 中島このみ 旭川医科大学医学部看護学科

研究背景と意義

統合失調症患者の現状

- ・入院患者の6割が統合失調症を有する患者(厚生労働省, 2008)
- ・退院に消極的になりやすい

研究をすすめる課題

- ・5年以上の入院患者は半数を占めている(厚生労働省,2008)
- ・患者の退院意思を育むには困難を伴うことが多い(田中,2004)

研究意義

- ・看護介入を検討することで患者が退院の意識を高める看護援助が可能になると考えられる

研究目的

- ・統合失調症を有する患者の退院を阻害する要因を明らかにする。
- ・結果に基づき、退院に向けた看護介入の内容を考察する。

研究方法

研究対象

看護師3名。
(入院期間が5年以上の統合失調症を有する患者を受け持った経験のある者)

データ収集方法

半構成的インタビュー

調査内容

- ①長期入院する統合失調症患者の退院に向けて看護師側と患者側の阻害する要因
- ②統合失調症患者を受け持ち退院することができたか
- ③最後に長期入院する統合失調症患者への看護をする際に退院の動機づけて大切であること

分析方法

- ① ベレルソン(1975)の内容分析を用いた。
- ② 看護師が語った内容を主語と述語からなる1文章を抽出してデータ化し、記録単位とした。
- ③ 分析対象とする表現を意味内容の類似性に従って分類し、コード化した。
- ④ 各コードについて抽象度を高めてサブカテゴリー化し、高次概念でカテゴリーネームをつけた。

研究結果 ① 統合失調症を有する患者の退院を阻害する要因

カテゴリ(4)	サブカテゴリ(19)
退院先の受け入れの限界	家族の協力が少ない/家族が持つ受け入れ条件/社会と隔絶/患者の孤立/地域の既存する施設環境不足/施設への依存/対象者の受け入れ先がない/病院にみてもらうという家族の要望
患者の病状の重症	自己管理不足/安定しない病状/回復の個人差/薬物療法の限界
患者の退院に対する受け止め	退院する不安/退院したい意欲の維持/退院後の人生像が漠然としている
退院させたい思いと看護することの難しさというジレンマ	看護師が慢性期の精神疾患患者を理解することの難しさ/患者を退院させたいという願望/患者によって異なる看護の方向性/スタッフの意欲の低下

② 患者を退院につなげるための取り組み

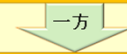
カテゴリ(5)	サブカテゴリ(22)
患者が自身の健康管理行動	病気の受け止め/病状悪化時の対処/服薬の受容性を理解してもらった/薬の自己管理に至るまでの過程/対象者が行きやすい病院の存在
心理教育	病状安定のための内服薬の活用/家族が疾患知識を持つことの重要性/退院意欲を大事にする
人間理解	その対象者に対してケアをする/その人らしく生きていくための看護/退院後のやりたいことと現状をリンクさせる
患者の状況に応じた介入	早期治療による短期入院の重要性/退院を見据えたアセスメントする/様々な方法で介入を行う/段階を踏んで看護を行う/退院後やりたいことを見つめる
協働	対象者の協力/施設によって異なるケア内容/家族の協力が必要/資源を活用して帰る場所を探す/医療者間の情報共有/チームで看護の方針を決める



考察 ① 統合失調症を有する患者の退院を阻害する要因

現状

退院後は家族が患者をみる風潮



- ・家族の受け入れのみに頼るには限界がある
- ・家族の負担を考慮しなければならない

考察② 統合失調症を有する患者の退院を阻害する要因 看護師側の要因にも着目

〈患者を退院させたいという願望がある〉

ジレンマ

〈スタッフの意欲の低下〉

影響

- ・看護師の視野が狭まる
- ・看護の難しさに目が向いてしまう

長期入院患者は看護介入の効果が早期に得られない

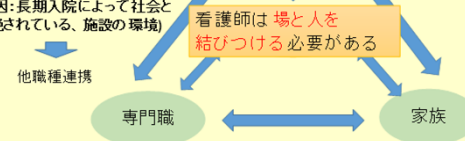
看護師のモチベーションを考慮



考察③ 患者を退院につなげるための取り組み

現状

- ・患者が地域に根付くための看護が難しい
- (要因:長期入院によって社会と隔絶されている、施設の種類)



考察④ 患者を退院につなげるための取り組み

【患者の状況に応じた介入】

- ・地域においてもその人らしい生活ができる
- ・長期入院する患者を継続的に支援する
- ・今後、患者への教育的な視点が必要

【心理教育】

指導

- ・患者が主体的に治療や自己管理を行うことができるように指導する
- ・患者が退院後も継続して支援を活用できるようにする

結論

退院を阻害する要因

- ・患者の病状の重症
- ・家族の受け入れには限界がある
- ・スタッフの意欲の低下

退院に向けた介入

- ・個別性を重視した看護
- ・患者・家族を中心とした職種連携
- ・患者が主体的に治療や自己管理を行うことができるようにする
- ・退院後も継続して支援を活用できるようにする

参考文献

1. 厚生労働省精神疾患のデータ2008年,2017年4月17日 <http://www.mhlw.go.jp/kokoro/specialty/data.html>
2. 田中美恵子(2004) 精神障害者の地域支援ネットワークと看護援助, 医歯薬出版.
3. 厚生労働省(2012) 平成21年度精神科病院退院患者の退院先の状況 2017年11月16日 <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000028siu-att/2r98520000028t0u.pdf>
4. 吉村公一(2017) 退院後の生活の場への意向をもつ長期入院統合失調症患者の家族に対する精神科看護師の態度, 精神看護, 49-55頁, 第44巻, 第4号.
5. 一ノ山隆司, 村上満, 舟崎起代子, ほか1名(2008) 入院中の統合失調症患者を支える家族の日頃の心理的負担に関する研究, 共創福祉, 21-30頁, 第3巻, 第2号.
6. 高橋未来, 葛谷玲子, 石川かおり, ほか2名(2016) 精神科長期入院患者の退院支援における家族への看護の検討—複数施設で実施する事例検討会を通して—, 岐阜県立看護大学紀要, 頁113-120, 第16巻, 1号.